



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東  
 コード番号 9366 URL <http://www.srt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 康英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西村 哲 (TEL) 03-3471-0011  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,347	6.3	336	157.6	196	376.7	65	—
25年3月期第3四半期	11,616	△3.9	130	△53.4	41	△80.2	△42	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 282百万円( —%) 25年3月期第3四半期 △107百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	10.85	—
25年3月期第3四半期	△7.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	23,242	6,959	29.6	1,144.60
25年3月期	22,978	6,751	29.0	1,109.49

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,870百万円 25年3月期 6,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.25	—	12.25	24.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

詳細は、平成25年5月14日公表の「平成25年3月期決算短信」添付資料7ページ  
 「1. (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	10.5	680	—	530	—	310	—	51.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	6,006,373株	25年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,588株	25年3月期	3,514株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	6,002,841株	25年3月期3Q	6,002,915株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
継続企業の前提に関する注記	9
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
セグメント情報等	9
重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済状況は、円安による輸出の増加や内需回復を背景に企業収益は改善に向かっており、個人消費も緩やかながら増加傾向にあります。世界経済は、アジア諸国の一部地域において景気減速の懸念があるものの、債務不履行を回避した米国に景気回復の兆しが見られ、中国、欧州経済においても、徐々に景気が持ち直しつつあります。

物流業界におきましては、国内貨物は景気回復を受け、消費関連貨物及び建設関連貨物を中心に動きが出てきており、輸出貨物においても世界経済の回復や円安を背景に増加傾向にあり、立ち直りの兆しが見え始めております。

このような事業環境の中、当社は、国際物流分野において工作機械等の海上貨物取扱額及び医療機器関連3PL分野の取扱額が減少したものの、半導体関連機器等の新規案件が着実に売上に寄与したほか、積極的な営業活動により倉庫の稼働率が大幅に向上した結果、売上高は前年同期で増加しました。

利益面におきましては、本社機能のスリム化により一般管理費の削減を図るとともに、倉庫の収支が大きく改善したことにより、営業利益は前年同期比で大幅に増加しました。

国内連結子会社におきましては、利益を計上するには至らないものの、経費削減の効果が出始め、業績は回復傾向にあります。

中国連結子会社におきましては、国際物流分野の拡充を目的として上海市に設立しました国際貨運代理の会社が、12月より営業を開始いたしました。今後は同社事業の早期確立を図るとともに、中国事業の再編を含めた事業採算の改善に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高123億47百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益3億36百万円(前年同期比157.6%増)、経常利益1億96百万円(前年同期比376.7%増)、四半期純利益65百万円(前年同期は四半期純損失42百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 梱包事業部門

国際海上貨物及び既存の医療機器関連3PL分野の取扱額が減少しましたが、半導体機器等の新規案件が寄与したほか、国際航空貨物の取扱額も堅調に推移しました。

この結果、当該部門の業績は、売上高90億53百万円(前年同期比7.5%増)、セグメント利益4億98百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

#### ② 運輸事業部門

国際航空貨物の取扱額は堅調に推移しましたが、国際海上貨物及び医療機器関連3PL分野の取扱額が減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高18億92百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益79百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

積極的な営業活動を展開し稼働率が大幅に改善したことに加え、京浜事業所の本格稼働及び倉庫の効率的運用に努めた結果、売上高及びセグメント利益ともに大幅に増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高10億87百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益1億39百万円(前年同期はセグメント損失36百万円)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高3億12百万円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益1億76百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産232億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億64百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、76億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億93百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加8億66百万円、受取手形及び売掛金の増加1億72百万円等によるものであります。

固定資産につきましては、155億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億28百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少2億88百万円、リース資産の減少1億60百万円、投資その他の資産において、繰延税金資産の減少1億40百万円等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、162億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、53億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億67百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加1億55百万円、短期借入金の増加9億1百万円によるものであります。

固定負債につきましては、109億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億11百万円減少いたしました。これは主に、社債の減少91百万円、長期借入金の減少9億16百万円、リース債務の減少1億45百万円及び金利スワップの減少74百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、69億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の減少8百万円、その他有価証券評価差額金の増加78百万円、繰延ヘッジ損益の増加47百万円及び為替換算調整勘定の増加93百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の29.0%から29.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,593,158	3,459,219
受取手形及び売掛金	3,401,872	3,574,116
商品及び製品	62,907	81,613
原材料及び貯蔵品	82,548	103,190
繰延税金資産	262,938	272,835
その他	299,980	205,971
貸倒引当金	△1,400	△1,400
流動資産合計	6,702,007	7,695,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,003,372	8,715,200
機械装置及び運搬具(純額)	112,364	114,193
土地	2,308,754	2,308,754
リース資産(純額)	2,623,289	2,462,477
その他(純額)	47,988	38,692
有形固定資産合計	14,095,768	13,639,318
無形固定資産		
リース資産	895	162
ソフトウェア	153,596	125,878
その他	6,555	6,519
無形固定資産合計	161,046	132,561
投資その他の資産		
投資有価証券	353,416	453,553
破産更生債権等	—	19,582
繰延税金資産	832,409	691,448
その他	833,463	621,278
貸倒引当金	—	△10,427
投資その他の資産合計	2,019,289	1,775,435
固定資産合計	16,276,104	15,547,314
資産合計	22,978,111	23,242,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,093,100	1,248,453
短期借入金	1,786,996	2,688,249
1年内償還予定の社債	112,000	112,000
リース債務	198,592	194,021
未払法人税等	36,508	36,039
賞与引当金	148,084	185,359
その他	677,378	856,031
流動負債合計	4,052,660	5,320,154
固定負債		
社債	331,000	240,000
長期借入金	8,119,409	7,202,474
リース債務	2,495,876	2,350,268
退職給付引当金	565,968	586,351
資産除去債務	381,063	387,200
長期預り金	58,035	47,885
金利スワップ	222,767	148,555
固定負債合計	12,174,120	10,962,736
負債合計	16,226,780	16,282,890
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	1,884,388	1,875,993
自己株式	△2,988	△3,027
株主資本合計	6,846,394	6,837,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,648	185,660
繰延ヘッジ損益	△143,908	△95,966
為替換算調整勘定	△150,042	△56,850
その他の包括利益累計額合計	△186,302	32,842
少数株主持分	91,238	89,168
純資産合計	6,751,330	6,959,971
負債純資産合計	22,978,111	23,242,862



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,616,333	12,347,034
売上原価	9,781,040	10,273,499
売上総利益	1,835,292	2,073,534
販売費及び一般管理費		
販売費	885,420	864,086
一般管理費	819,223	872,862
販売費及び一般管理費合計	1,704,644	1,736,949
営業利益	130,647	336,584
営業外収益		
受取利息	5,568	5,340
受取配当金	4,564	4,891
受取保険金	6,228	1,954
法人税等還付加算金	3,965	—
その他	5,848	10,184
営業外収益合計	26,176	22,370
営業外費用		
支払利息	103,875	160,911
為替差損	4,513	—
支払手数料	7,182	—
その他	0	1,382
営業外費用合計	115,571	162,293
経常利益	41,253	196,661
特別利益		
固定資産売却益	—	36
会員権売却益	—	2,800
特別利益合計	—	2,836
特別損失		
固定資産売却損	—	1
投資有価証券評価損	21,018	—
特別損失合計	21,018	1
税金等調整前四半期純利益	20,234	199,496
法人税、住民税及び事業税	12,536	46,028
法人税等調整額	56,964	91,055
法人税等合計	69,501	137,084
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△49,266	62,412
少数株主損失(△)	△6,684	△2,728
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,582	65,140

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△49,266	62,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,596	78,669
繰延ヘッジ損益	△79,831	47,941
為替換算調整勘定	5,596	93,192
その他の包括利益合計	△58,638	219,802
四半期包括利益	△107,905	282,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,186	284,285
少数株主に係る四半期包括利益	△6,718	△2,070

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,418,207	1,931,683	953,266	313,175	11,616,333	11,616,333
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	113	—	—	113	113
計	8,418,207	1,931,797	953,266	313,175	11,616,447	11,616,447
セグメント利益又はセグメント損失(△)	499,468	70,122	△36,891	168,774	701,474	701,474

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	701,474
セグメント間取引消去	1,042
全社費用(注)	△571,869
四半期連結損益計算書の営業利益	130,647

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,053,584	1,892,906	1,087,804	312,738	12,347,034	12,347,034
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	144	—	—	144	144
計	9,053,584	1,893,050	1,087,804	312,738	12,347,178	12,347,178
セグメント利益	498,390	79,086	139,911	176,424	893,812	893,812

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	893,812
セグメント間取引消去	678
全社費用(注)	△557,905
四半期連結損益計算書の営業利益	336,584

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。